

経済・経営学部の英語プログラムにおける 学習語彙リストの開発

PENG, Virginia Mary・清水 裕子

1. はじめに

本研究は、立命館大学経済・経営学部における英語プログラムの核となる科目に関わるもので、英語学習者の学習促進のための言語材料を提供するために、2001年立命館研究奨励基金（第二種）を受けて取り組んだものである。この研究では、語彙面における学習到達目標を設定することにより、それを基にしたテストや自学自習プログラムの実施をオンライン上で可能にし、より具体的な診断的情報を学習者に与えることができ、また指導者側にも学力把握や指導効果の検証の一手段を与えることになると考えた。そこで、具体的には、使用教科書に依存せず、大学英語教育段階で習得しておくべき学習語彙を抽出し、基本語彙から専門科目への橋渡しとなる語彙レベルまで、いくつかの水準に分類した語彙リスト作成し、それをもとに学習用ツールを作成するための基盤の構築を本研究の目的とした。

この目的を達成するために、①JACET 基本語彙、②ICU 基本語彙、③英検1級・準1級語彙リスト、④TOEIC 基本語彙600、⑤経済学関連基本語彙のデータを手し、それらをひとつの語彙リストとしてデータベースに納め、使用頻度および難易度をもとに独自のレベル付けを行い、これをもとにオンラインでの教材化のための基盤を作り上げた。本稿では、その方法と過程を示し、最後に語彙リストの一部を資料として紹介しておく。

2. 経済・経営学部における英語プログラムとの関係

応用言語学をはじめとする言語教育の関連分野では、コンピュータを用いての言語資料（コーパス）の編纂や分析が広く行われるようになり、語彙研究や文法研究などはもちろんのこと、教材の一部としてコンコーダンスを用い、上級レベルの作文指導などの教育面にも活用されている。一方、本学経済・経営学部における英語カリキュラムでは、98改革により新たな方向性が打ち出され、統一教材・シラバスによる授業が展開され、成果を上げてきているが、上述のような言語資料を活用した授業展開は、選択科目以外では現実味を備えていないのが事実である。しかし、

語彙に関する先行研究やコンピュータ・ベース化された言語材料を活用しながら、テキスト分析に基づいた独自の学習語彙の抽出を行うことは、我々のプログラム全体の共有財産として活用できると共に、それらをデータ・ベース化しておくことにより、教材開発やテスト開発において応用範囲を広げることができる。

経済・経営学部の英語プログラムにおける語彙指導に関しては、教科書に基づいた語彙リストを作成して定期的な小テストを課すなど、大抵の場合は各教員の裁量に任せられているが、CALL クラスにおいては、オンラインで語彙の練習問題を解くことを共通のタスクとして学習者に課していた。しかし、それらがある特定の教材を基に作成されているため、教材が変更された場合には、活用できなくなるという非効率な現実がある。そこで、カリキュラム全体としても、学習者に対しての目標設定をより具体的にし、学習環境におけるニーズと現実に即し、さらに精錬させたプログラムにしていくことが必要であると考え。その具体化のひとつとして、本研究では語彙学習を取り上げ、英語プログラム内での語彙面での学習および指導目標を明確にすると共に、学習者の語彙習得を強化するために、教材化およびテスト化の資料となり得る学習語彙リストの開発を試みた。つまり、指導すべき語彙というものを、①複数の英語教材をもとにした基本語彙、および②専門における基礎文献をもとにした専門語彙に分けてデータ・ベース化しておくことで、必要に応じて引き出し、ペーパー・ベースはもとより、コンピュータ・ベースでの教材化およびテスト化に応じられるようにするものである。

3. 語彙データ・ベースの構築

3.1. 本研究における〈学習語彙〉

本研究における〈学習語彙〉は、以下の2つの枠組みを設定し抽出した。

- ①基本語彙：EAP (English for Academic Purpose) を念頭に置き、大学生を対象に一般に用いられている教科書に共通するジャンルの中から抽出した核となる語彙群。
- ②専門語彙：専門分野への橋渡しとなるよう、経済・経営学部における基礎文献(英文)をもとに抽出する語彙群。

データ・ベース化に際しては、基本語彙として、国際基督教大学の先行研究により抽出された English Vocabulary for Academic Purposes (1997) の中の社会科学系用の基本語彙および大学英語教育学会 (JACET) の開発による基本語彙リスト「JACET4000語」、日本英語検定協会が実施している実用英語検定準1級・1級頻出語彙、Barron's の Essential Words for the TOEIC (1999) をもとにし、また専門語彙としては Samuelson & Nordhaus の Economics (1989) をもとにし、我々の英語プログラム独自の語彙リストを作成した。さらに、ジャンル別、難易度別、頻度別等による指標を付加し、実際の使用に際しての抽出の簡便をはかることを考えた。

3.2. 研究方法

3.2.1. 語彙抽出のために用いた資料

独自の語彙リストの作成には、次に示す6種の資料を用いた。なお、基本語彙リストとして

は(A)~(E)を、専門語彙リストとしては(F)を用いた。

(A) JACET 基本語4000

テキスト分析に関しては、本研究の共同研究者である清水裕子が、1998年度より文部省科学研究費補助金・基盤研究(C-1)「工業系大学の英語カリキュラム構築」(課題番号10310465, 研究代表者・小山由紀江(長岡技術科学大学))の中で、工学系の文献を用いて分析を行ったが、専門分野が多岐にわたり、かつ細分化されていたため、分析するテキストによって抽出語彙にかなり偏りが生じた。そこで、本研究では、あくまでも〈コア〉となる語彙を念頭に置き、できるだけ代表性のある語彙の抽出をこころがけたく、大学英語教育学会が開発した「JACET4000語」を基準に用いることにした。これは、JACET教材研究委員会が、JACET20周年記念事業の一環として出版した「大学一般教養課程における英語講読用教科書のあり方」(1981年10月)の中で、大学の1, 2年生の間に習得すべき recognition 用語彙の質と量について論じ、そこで提案したことが発端になって作成されたものである。その後、種々の調査研究を経て、使用頻度の5段階表示、品詞名および意味・機能による14分野別の情報を加えて1993年6月に「JACET基本語4000」として出版された。今回、JACET基本語4000における1~5までのレベルを基準値として採用したが、そのレベルは使用頻度をもとにしたものであり、5段階に分ける際の典拠として参照されたのは『プロシード英和辞典』福武書店初版の「キーワード5000」である。(大学英語教育学会教材研究委員会, 1993)

(B) 英語基本単語5000語

この研究を遂行する過程で、名古屋大学の外池俊幸教授が、米国人教員の Linda Woo 氏の協力のもとに、「JACET基本語4000」やロングマン社の学習者用英英辞典等を参考にし、英語基本単語5000語を作成し、ホームページ上で公開されているという情報を入手した。(詳細は <http://lang.nagoya-u.ac.jp/~tonoike/linda5000.html>) そこで、本研究においては、JACET基本語4000に加えて、英語基本単語5000語で提示された語彙も参考にすることにした。

(C) English Vocabulary for Academic Purposes : SS Common Vocabulary

国際基督教大学では、文部省科学研究費補助金を得て、大規模な語彙研究を行い、使用頻度等をもとにした EAP (English for Academic Purposes) のための語彙コーパスを構築した。領域を Physical Science Common (PS Common) と Social Science Common (SS Common) に大別し、前者は生物学、科学、数学、物理学を中心とした学問分野からの語彙群、後者は経済学、言語学、哲学、心理学を中心とした分野からの語彙群を抽出している。我々の英語プログラムにおける学習者は、経済、経営に関する分野に属するため、SS Common として抽出された語彙群1785語を採用した。

(D) 600 Essential Words for the TOEIC

最近では TOEIC (Test of English for International Communication) や TOEFL (Test of English as a Foreign Language) 等のテスト対策本が多く出版されてきているが、特に、本学 BKC では、理工

学部も含めて TOEIC の受験者が増えてきている。また、ビジネス関連の内容を扱った問題も多いことから、TOEIC 対策として語彙のみを扱った Barron's の 600 Essential Words for the TOEIC (1999) を用い、そこで紹介されている 600 語彙を、そのカテゴリー化と共にデータ化した。なお、最終のデータでは、熟語やイディオムは削除した。

(E) 英検準 1 級・1 級

日本英語検定協会が実施している実用英語検定も、広く受験されている英語テストである。大学入学段階では、基本的には 2 級レベルの語彙を習得していることが期待されよう。また、2 級で扱われる語彙は、「JACET 基本語 4000」と重なるものが多いと予測されたので、本研究では、準 1 級・1 級頻出語彙 2546 語を上位レベルの語彙と見なしてデータ化した。

(F) Samuelson & Nordhaus. *Economics*. (3rd ed.) の Glossary of Terms

基本語彙をもとに、英語で書かれた種々の文献等が理解できるようになることが期待できるが、さらに学習者の専門領域とのかけはしとなるよう、専門分野における語彙群の抽出も試みた。ただし、経済や経営の分野も多岐にわたり、多くを網羅しようとする膨大な語彙数となる。そこで、本研究では、将来、専門分野の教員の協力を得ながら研究を進めることを前提として、そのための糸口となるよう、経済学における基本文献を一冊選び、それをもとにした語彙リストを作成することに留めた。具体的には、Samuelson & Nordhaus. *Economics*. 3rd ed. (1989) の Glossary of Terms 469 をデータ化した。

(A)~(F)の抽出語彙数は以下のとおりである。

表 1 抽出語彙に関する資料

	資料・文献	小計	合計
基本語彙	(A) JACET 基本語4000	5018	9949
	(B) 英語基本単語5000語		
	(C) English Vocabulary for Academic Purposes : SS Common Vocabulary	1785	
	(D) TOEIC 基本語	600	
	(E) 英検準 1 級・1 級	2546	
専門語彙	(F) Economics の Glossary of Terms	469	469

3.2.2. 語彙リストの編集

第 1 段階：基本データの入力

語彙リストの編集に当たっては、まず、専門語彙リスト用の(F)を対象からはずし、(A)~(E)を用いた基本語彙リストの作成を行った。まず、(A)JACET 基本語4000に関しては、記載されている情報(語、語彙レベル、品詞、ジャンル)をエクセルに入力し、基本語彙リストの基準とした。次に、(B)英語基本単語5000語の中で JACET 基本語4000に加えられた語を加えた。最後に、(C)English Vocabulary for Academic Purposes : SS Common Vocabulary 1785語、(D)TOEIC 基本語

600語, (E)英検準1級・1級2546語の入力を行った。なお, この段階では, (A)以外については語彙レベルの情報の入力を行っていない。最終的に各資料間で重複する語彙を削除した結果, 合計7191語が抽出でき, それらにID番号をつけておいた。

第2段階：レベル設定

JACET 基本語4000には不規則動詞の過去形および過去分詞形も別個の語彙として提示されていたため, それらをリストからはずした。残り6953語をもとに, 0から8までの9段階のレベル設定を行った。

まず6953語の中から, 代名詞, 前置詞, 助動詞などの基本的な機能語や, 月, 曜日, 数字をはじめ名詞を中心とした基本的と思われる語彙をすべて語彙レベル〈0〉に変更した。

次に, JACET ランキングで異なる語彙レベルに入っているが, 派生語と見なすものは, 基本的には下位レベルに揃えて, 同じレベルにした。

JACET 基本語4000以外はレベル付けがされていないわけだが, 次の基準でレベル設定を行った。

- ① JACET 基本語4000にある語の派生語とみなせるものは, そのレベルに揃えた。
- ② JACET 基本語4000に加えられた英語基本単語5000内の語は, ①以外は原則として語彙レベル〈5〉とした。
- ③ ICU の English Vocabulary for Academic Purposes : SS Common Vocabulary および TOEIC 基本語600は語彙レベル〈6〉とした。
- ④ 英検語彙準1級と1級については, それぞれ語彙レベル〈7〉, 〈8〉とした。

その結果, レベル毎の語彙数は以下ようになった。

表2 レベル別語彙数

レベル	語彙数	主な出所
0	388	(A) JACET 基本語4000
1	422	(B) 英語基本単語5000語
2	602	(C) English Vocabulary for Academic Purposes : SS Common Vocabulary
3	1027	
4	900	
5	1839	(D) TOEIC 基本語600
6	418	(C) (D)
7	673	(E) 英検準1級・1級
8	684	
合計	6953	

なお, 専門語彙リストに関しては, 現段階では, 基本語彙リストとは別にしてあるが, 今後, 検討する必要があると考える。

3.3.3. 語彙リストの運用

本研究における語彙のレベル付けは、あくまでも JACET 基本語4000における5段階を活用したもので、これは、前述のように『プロシード英和辞典』(福武書店)初版における「キーワード5000」をもとに、使用頻度に段階付けしたものである。その段階付けが、われわれの英語プログラムに関してどの程度の整合性をもっているかは、今後、検討する必要があるが、その検証のひとつの試みとして、2002年度4月より「英語1」において用いるリーディング用教材2種に関して、学習者用に作成した語彙リストの単語との比較を行った。

まず、2種の教材は次のとおりである。

① Super Advanced および Advanced 用

Balanchard, K. & Root C. (2000) . *For Your Information 4*. Longman.

② Upper-intermediate および Intermediate 用

Lee, L. & Gundersen, E. (2001) . *Select Readings*. Oxford University Press.

Pre-reading 用に活用することを意図して、①については560語、②については443語を任意に抽出した。それらを基本語彙リストで検索してみると、②の下位レベル用教材では95%以上が、また①の上位レベル用教材では75%以上が基本語彙に含まれていた。②の教材については、authentic English に近い題材が多いこともあり、基本語彙とみなしがたい語も含まれていたが、抽出した基本語彙の整合性を覆すものではないと解釈する。今後の課題としては、複数の教科書のデータをもとに、語彙リストのエントリーや段階付けの見直しも必要になろう。

3.3.4. 学習者用への語彙提示の方法

抽出された語彙をもとに、現行カリキュラムの中での活用方法を考える場合、本プログラムではすでに、CALL クラスにおける語彙タスクとしての利用が考えられる。2001年度までのカリキュラムでは、語彙学習用のタスクをCALL クラスに組み込んでおり、その内容は採用している教科書に依存しているため、使用教科書に変更が生じた場合、改訂のための多くの労力が必要となる。そこで、今回作成したような、用いる教材に依存しない形での語彙データ・ベースをもとに、効率的なペーパー・ベースおよびCALL 教材の開発やテスト・ツールとしての使用が可能になることが期待できる。

本研究の開始にあたっては、2002年4月を目処に、抽出語彙を基にした語彙リストの教材およびテストの形での教育現場への適応を予定していたが、本学のWebCTの導入という新たな方向性から、オンライン化の方法の検討に時間をかけることが賢明と判断し、CALL クラス(英語4, 8, 12)におけるオンライン語彙タスクの実施を見合わせることにした。2002年度のカリキュラムの上では本研究の成果を学習者に直接還元することができない状況になったが、これは使用教科書の変更とカリキュラムの再検討のための移行措置の期間であり、2003年度以降、この語彙データ・ベースをもとに、より効率的な、ペーパー・ベースおよびCALL 教材の開発やテスト・ツールとしての使用が可能になることが期待できる。

4. 最後に

多くの入試形態を経て入学してくる両学部の学生の英語レベルは多様であり、本プログラムにおいては、プレイスメント・テストにより複数の水準に分けて指導しているが、各水準毎に、語

彙面における到達目標も異なってくる。そこで、語彙リストにおいては、今後、語彙の現れるジャンルや頻度に加え、水準(難易度)に関する情報も付加していく。このことにより、将来において、目標準拠テスト(CRT: Criterion-referenced tests)が開発され、学習者の目標達成度を測定し診断的なフィードバックを与える場合にも、本語彙研究の成果が活用できるものと思う。

今後、英語教育の改善を目指したプロジェクトの接点および発端となり、語彙習得面のみならず、他の技能や言語材料の研究につながっていくことを願う。

参考文献

大学英語教育学会教材研究委員会 (1993) 「JACET 基本語4000」 大学英語教育学会.
 ICU Research group. (1997). English Vocabulary for Academic Purposes. リーベル出版.
 Lougheed, L. (1999) . 600 Essential Words for the TOEIC. Barron's.
 Samuelson, P. A. & Nordhaus, W. D. (1989) . Economics. (3rd ed.) . McGrawhill International.

資料

6953語すべてを含むリストを示すのは量的に困難なため、ここでは、レベル0からレベル8までのアルファベット<a>で始まる語彙のみを提示する。なお、実際のデータベースに品詞情報およびジャンルに関する情報も一部加えてある。また、資料内で JACET ランクの記述のない語彙は、JACET 基本語には含まれていない語彙を意味する。

- ①=本データ・ベースにおけるレベル
- ②=JACET 基本語におけるランク
- ③=主な出所 (表1参照)

①	②	③	0	alone	2	(A)	0	apple	3	(A)	
0	a	(A)	0	along	1	(A)	0	April	4	(A)	
0	a. m.	4	(A)	0	also	1	(A)	0	are	1	(A)
0	about	1	(A)	0	always	1	(A)	0	arm	1	(A)
0	above	1	(A)	0	am	1	(A)	0	around	1	(A)
0	across	1	(A)	0	among	1	(A)	0	art	2	(A)
0	after	1	(A)	0	an	1	(A)	0	as	1	(A)
0	afternoon	2	(A)	0	and	1	(A)	0	at	1	(A)
0	again	1	(A)	0	animal	1	(A)	0	August	5	(A)
0	ago	1	(A)	0	another	1	(A)	1	able	1	(A)
0	ah	1	(A)	0	answer	1	(A)	1	act	1	(A)
0	airport	4	(A)	0	any	1	(A)	1	add	1	(A)
0	air	1	(A)	0	anybody	3	(A)	1	against	1	(A)
0	airline	5	(A)	0	anyone	2	(A)	1	already	1	(A)
0	airplane	3	(A)	0	anyplace	(A)		1	although	1	(A)
0	album	(A)		0	anything	1	(A)	1	area	1	(A)
0	all	1	(A)	0	anywhere	3	(A)	1	ask	1	(A)
0	almost	1	(A)	0	apartment	3	(A)	1	away	1	(A)

2	accept	2	(A)	3	accountant	(A)	3	approach	3	(A)	
2	acting		(A)	3	accounting	(D)	3	argue	3	(A)	
2	action	2	(A)	3	achieve	3	(A)	3	argument	3	(A)
2	actual	3	(A)	3	achievement	(A)	3	arrange	3	(A)	
2	actualized		(A)	3	active	3	(A)	3	arrow	3	(A)
2	actually	2	(A)	3	activist	(A)	3	article	3	(A)	
2	addition	2	(A)	3	activity	3	(A)	3	artist	3	(A)
2	additional	3	(A)	3	address	3	(A)	3	aside	3	(A)
2	administer		(A)	3	adjective	3	(A)	3	asleep	3	(A)
2	administration 2		(A)	3	admit	3	(A)	3	associate	3	(A)
2	afraid	2	(A)	3	adult	3	(A)	3	association	3	(A)
2	age	2	(A)	3	adulthood	(C)	3	assume	3	(A)	
2	aged		(A)	3	advantage	3	(A)	3	atmosphere	3	(A)
2	agree	2	(A)	3	affair	3	(A)	3	atom	3	(A)
2	agreement	3	(A)	3	affect	3	(A)	3	atomic	4	(A)
2	ahead	2	(A)	3	agency	3	(A)	3	attempt	3	(A)
2	allow	2	(A)	3	agent	3	(A)	3	attend	3	(A)
2	allowance		(A)	3	aid	3	(A)	3	attendance		(A)
2	ambulance	2	(A)	3	aim	3	(A)	3	attitude	3	(A)
2	amen	2	(A)	3	aimless	(E)	3	attract	3	(A)	
2	amount	2	(A)	3	alike	3	(A)	3	attraction		(A)
2	angle	2	(A)	3	alive	3	(A)	3	attractive	4	(A)
2	angry	2	(A)	3	analysis	3	(A)	3	audience	3	(A)
2	anyway		(A)	3	analytic	(C)	3	aunt	3	(A)	
2	appear		(A)	3	analyze	(A)	3	author	3	(A)	
2	army	2	(A)	3	ancient	3	(A)	3	authority	3	(A)
2	arrival	5	(A)	3	anger	3	(A)	3	automobile	3	(A)
2	arrive	2	(A)	3	announce	3	(A)	3	availability		(C)
2	attack	2	(A)	3	announcement	(A)	3	available	3	(A)	
2	attention	2	(A)	3	ant	3	(A)	3	average	3	(A)
3	accent	3	(A)	3	apart	3	(A)	3	avoid	3	(A)
3	accord		(C)	3	apparent	5	(A)	3	avoidance		(C)
3	accordance		(C)	3	apparently	3	(A)	3	aware	3	(A)
3	according	3	(A)	3	appeal	3	(A)	3	awareness		(A)
3	accordingly		(C)	3	appearance	3	(A)	3	awe		(E)
3	account	3	(A)	3	apply	3	(A)	3	awful	3	(A)

4	abandon	4 (A)	4	alarm	4 (A)	4	awake	4 (A)
4	aboard	4 (A)	4	alarm clock	(A)	4	awaken	5 (A)
4	abroad	4 (A)	4	aloud	4 (A)	4	award	4 (A)
4	absolute	5 (A)	4	alphabet	4 (A)	5	abrupt	step(A)
4	absolutely	4 (A)	4	altogether	4 (A)	5	abruptly	(E)
4	absorb	4 (A)	4	angel	4 (A)	5	absence	5 (A)
4	accident	4 (A)	4	annoy	4 (A)	5	absent 5	(A)
4	accompany	4 (A)	4	annual	4 (A)	5	abstract	5 (A)
4	accomplish	4 (A)	4	anxious	4 (A)	5	abuse	(A)
4	accomplishment	(D)	4	applicable	(C)	5	academic	5 (A)
4	accuracy	(C)	4	application	4 (A)	5	acceptable	5 (A)
4	accurate	4 (A)	4	applied	(A)	5	acceptance	5 (A)
4	accurately	(C)	4	appoint	4 (A)	5	accommodate	(E)
4	accuse	4 (A)	4	appointment	4 (A)	5	accommodations	(A)
4	acid	4 (A)	4	appropriate	4 (A)	5	accustom	5 (A)
4	acquaintance	(A)	4	appropriately	(C)	5	accustomed	(A)
4	acquainted	(E)	4	approve	4 (A)	5	ache	5 (A)
4	acquire	4 (A)	4	approximate	(A)	5	acknowledge	(A)
4	acquisition	(A)	4	approximately 4	(A)	5	acknowledgment	(C)
4	acre	4 (A)	4	approximation	(C)	5	acupuncture	(A)
4	actor	4 (A)	4	arise	4 (A)	5	ad	5 (A)
4	actress	5 (A)	4	arithmetic	4 (A)	5	adapt	5 (A)
4	adjust	4 (A)	4	arrangement	4 (A)	5	adaptable	(E)
4	adjustment	(C)	4	arrest	4 (A)	5	adaptation	(C)
4	admiration	(E)	4	aspect	4 (A)	5	addictive	(D)
4	admire 4	(A)	4	assembly	4 (A)	5	adequacy	(E)
4	adopt	4 (A)	4	assign 4	(A)	5	adequate	5 (A)
4	advance	4 (A)	4	assignment	4 (A)	5	adequately	(C)
4	adventure	4 (A)	4	assistance	5 (A)	5	admission	5 (A)
4	adverb	4 (A)	4	assistant	4 (A)	5	advertisement	(A)
4	advertise	4 (A)	4	assurance	(E)	5	advocacy	(E)
4	advice	4 (A)	4	assure	4 (A)	5	advocate	(A)
4	advise	5 (A)	4	astronaut	4 (A)	5	aerobic	(A)
4	adviser	(A)	4	attach	4 (A)	5	aeroplane	(A)
4	afford	4 (A)	4	attachment	(E)	5	affection	(E)
4	affordable	(A)	4	attorney	4 (A)	5	affectionate	(A)
4	aircraft	4 (A)	4	autumn	4 (A)	5	afterward	5 (A)

5 agenda	(A)	5 anticipate	(C)	5 astonished	(A)
5 aggressive	(A)	5 anticipation	(A)	5 athlete	(A)
5 agriculture	5 (A)	5 antique	(A)	5 athletic	5 (A)
5 aisle	(A)	5 anxiety	5 (A)	5 authentic	(A)
5 alcohol	5 (A)	5 anyhow	5 (A)	5 autograph	(A)
5 alcoholic	(A)	5 anymore	(A)	5 automatic	5 (A)
5 alert	5 (A)	5 apology	(A)	5 automatically	(A)
5 algebra	(A)	5 appetite	(A)	5 avenue	5 (A)
5 alias	(A)	5 applause	(A)	5 awkward	5 (A)
5 alibi	(A)	5 appreciate	5 (A)	5 awoke	5 (A)
5 alien	5 (A)	5 approval	5 (A)	5 ax (e)	5 (A)
5 allergic	(A)	5 apron	5 (A)	5 axis	5 (A)
5 alliance	(A)	5 arc	5 (A)	5 aye	(A)
5 ally	(A)	5 arch	5 (A)	6 abstraction	(C)
5 alter	5 (A)	5 architect	5 (A)	6 absurd	(C)
5 alteration	(C)	5 armed	(A)	6 accumulation	(C)
5 alternative	5 (A)	5 arose	5 (A)	6 adhere	(C)
5 alternatively	(C)	5 artificial	5 (A)	6 adherence	(C)
5 altitude	5 (A)	5 artificially	(C)	6 adjacent	(C)
5 alumni	(A)	5 artistic	5 (A)	6 admissible	(C)
5 amateur	5 (A)	5 ash	5 (A)	6 aesthetic	(C)
5 amaze	(E)	5 ashamed	5 (A)	6 albeit	(C)
5 amazing	5 (C)	5 ashore	5 (A)	6 allege	(C)
5 ambassador	5 (C)	5 ashtray	(A)	6 allocate	(C)
5 ambition	5 (C)	5 Asian	(A)	6 ambiguous	(C)
5 ambitious	5 (C)	5 aspirin	(A)	6 apparatus	(C)
5 amuse	5 (C)	5 assassinate	(A)	6 appendix	(C)
5 amusing	5 (C)	5 assemble	5 (A)	6 apt	(C)
5 analogy	(C)	5 assertive	(A)	6 arbitrarily	(C)
5 ancestor	5 (C)	5 assess	(C)	6 arbitrary	(C)
5 anecdote	(C)	5 assessment	(A)	6 array	(C)
5 ankle	5 (C)	5 asset	(A)	6 ascribe	(C)
5 anniversary	5 (C)	5 assist	5 (A)	6 assert	(C)
5 anode	5 (C)	5 assorted	(A)	6 assertion	(C)
5 anonymous	(C)	5 assortment	(A)	6 assimilate	(C)
5 anonymously	(E)	5 assumption	5 (A)	6 attain	(C)
5 antenna	5 (A)	5 astonish	(E)	6 attainment	(C)

6	attribute	(C)	7	anemia	(E)	8	allegory	(E)
6	autonomy	(C)	7	anemic	(E)	8	alleviate	(E)
7	abbreviate	(E)	7	anonymity	(E)	8	allure	(E)
7	abolish	(E)	7	antipathy	(E)	8	altruistic	(E)
7	abort	(E)	7	appraise	(E)	8	amenable	(E)
7	abridge	(E)	7	aptitude	(E)	8	amend	(E)
7	access	(E)	7	archaic	(E)	8	amiable	(E)
7	accessible	(E)	7	ardent	(E)	8	amply	(E)
7	acclaim	(E)	7	articulate	(E)	8	animosity	(E)
7	acute	(E)	7	ascribed	(E)	8	antagonists	(E)
7	additive	(E)	7	attentive	(E)	8	appalling	(E)
7	adept	(E)	7	attest	(E)	8	appease	(E)
7	adherent	(E)	7	augment	(E)	8	arable	(E)
7	adjoining	(E)	7	auspiciously	(E)	8	arduous	(E)
7	admonish	(E)	7	autonomously	(E)	8	ascetic	(E)
7	adverse	(E)	7	avert	(E)	8	askew	(E)
7	affable	(E)	8	abate	(E)	8	assail	(E)
7	affiliate	(E)	8	abet	(E)	8	assault	(E)
7	affirm	(E)	8	abject	(E)	8	assiduous	(E)
7	affirmative	(E)	8	abode	(E)	8	assuage	(E)
7	affixed	(E)	8	abrasively	(E)	8	astute	(E)
7	afflict	(E)	8	abrogate	(E)	8	atrocious	(E)
7	affliction	(E)	8	abscond	(E)	8	atrocious	(E)
7	affluent	(E)	8	abstain	(E)	8	austere	(E)
7	aggression	(E)	8	accost	(E)	8	austerely	(E)
7	agonize	(E)	8	acrid	(E)	8	autocratic	(E)
7	alleged	(E)	8	acrimony	(E)	8	autopsy	(E)
7	allocation	(E)	8	adage	(E)	8	averse	(E)
7	allot	(E)	8	adamantly	(E)	8	aversion	(E)
7	amass	(E)	8	adjourn	(E)	8	axes	(E)
7	ambiance	(E)	8	admonition	(E)			
7	ambivalent	(E)	8	adroit	(E)			
7	amenity	(E)	8	affinity	(E)			
7	amnesty	(E)	8	aggregate	(E)			
7	amplify	(E)	8	agility	(E)			
7	analogous	(E)	8	alacrity	(E)			
7	anatomy	(E)	8	allegiance	(E)			

Abstract

Initial Vocabulary List for the English Program in the Faculties of Economics and Business Administration

The English Program at Ritsumeikan University's Faculties of Economics and Business Administration currently has collaborative research to create an online self study program. However, within this research there was a need to have objectives towards which students could aim. Thus, the purpose of this research was to begin the compilation of a database. This database is compiled of vocabulary items from sources such as textbooks used in Ritsumeikan English classes, as well as a variety of other sources. From this database, lists were made for basic level to professional level in order for students to have a concrete list of vocabulary to work toward in self study. This research was made possible with help from Ritsumeikan Grant Program in 2001.